［資料３］

第４回廃棄物減量等推進審議会　事前アンケート結果

１．ごみの出し方のマナー向上、分別の促進

（1-1）燃えるごみに資源ごみ等（ペットボトル・プラ・ビン・缶等）が混入していることへの対策案等。

・　各自治会の役員の研修会にてクリーンプラザ乙訓を見学していただき、資源を有効活用できるようお願いすることにつきるようなきがする。現場を見てしっかり認識してもらいたい。
・　繰り返し啓発するしかないと思われる。

（1-2）「プラのみ（容器・包装プラスチック類)」の収集日に、「ペットボトル」が排出されることへの対策案等。

・　環境美化推進員会で２か月、計４回ほどプラのみの日に腕章をつけてステーションに立って「ペットボトルが入っていませんか」と伺ったり、既にカゴに入っている分は自分の家に持ち帰る。ささやかな事であるが、地道に行っていくしかないと思われる。
・　向日市では資源ごみは同一日に収集ステーションで分別してＢＯＸ回収する仕組みのため（指導員あり)、資源ごみ間の混入が生じにくいように思える。同一日に回収すれば一つの改善案になると思われる。

(1-3) 資源ごみステーションで、ごみカゴが設置される前に混合ごみが放置されることへの対策案等。

・　これが一番難しく、前日に置かれているのを見たことがある。全種類の日には人が立っているので、色々、教えてもらえるが、前日に出されると、今回はペットボトルの収集は無いとの学習が、いつまでもなされない。
・　不本意ながら、パトロール又は監視カメラ等を利用するしかないと思う。（違反の目立つステーションのみで良いかと思う。）

(1-4) 他地域から、ごみの持込みがあることへの対策案等。

・　不法投棄、地域外のごみは本人のモラルの問題で、大きな鏡を置いて「その行い、自分の子どもに見せられますか」等の立看板を設置する。
・　市町村名入りごみ袋の導入。

２．古紙回収の状況

子ども会（自治会）で集団回収を実施していますが、一部で実施できていない地域があることへの対策案等。

・　資源であるので、古紙のカゴを置いてはどうか。また、古紙回収業者の協力で資源回収日に回ってもらってはどうか。
・　小学校への持ち込み回収等はできないか。（学校へ協力を依頼する必要があるが。）

３．事業系ごみの増加

家庭系ごみについては減量が進んでいますが、事業系ごみについては平成２０年度比で増加傾向にあるため、ごみ減量についての対策案等。

・　事業系は清掃作業員が個々のごみを集めて、そのごみをしっかり分別しているか。そのごみを適切に処理されているかの点だと思われる。
・　対策案ではないが、別紙「業種別月平均ごみ収集量」の資料では、上位５業種（食品販売、公共施設、コンビニ、飲食店、高齢者施設）のごみで全体の約半分（４９％）を占めるため、まずは上位業種を絞って、調査、対策を進められてはどうか。

４．食品ロス

まだ食べることができる食品が廃棄されないようにするための対策案等。

・　私自身、食品ロスをあまり出さないので考えられることは、鶏の唐揚げが残れば次の日に小さく切って卵と汁とで親子丼に、またはシチューが少し残ればふかしジャガイモと合わせてクリームコロッケにしたりしている。
・　主な食品ロスの発生源はどこか。事業系あるいは家庭形ごみか。まずは、調査を行い狙いを絞る必要がある。（よく、コンビニにおけるお弁当類の廃棄が報道されているが。）

５．その他

(5-1) ごみ袋について

透明・半透明の色のみを指定する袋、２市で進められている市町村名が記載された指定袋、ごみ処理費用を付加した有料袋などのご意見。

・　私個人としては、今のままにして欲しい。でも、本当は有料にした方が減量されると思われるが。
・　個人的には、市町村名記載袋が良いように思える。（他市町村からの持込防止になると思う。また、量の増加に対する抑止力にもなると考える。）

(5-2) ごみ減量全般について。

・　個々の無駄な買い物がごみ増加になってしまっている。そして、災害が起きると、なんとごみの多いこと。災害が起きないことを祈るばかりである。